

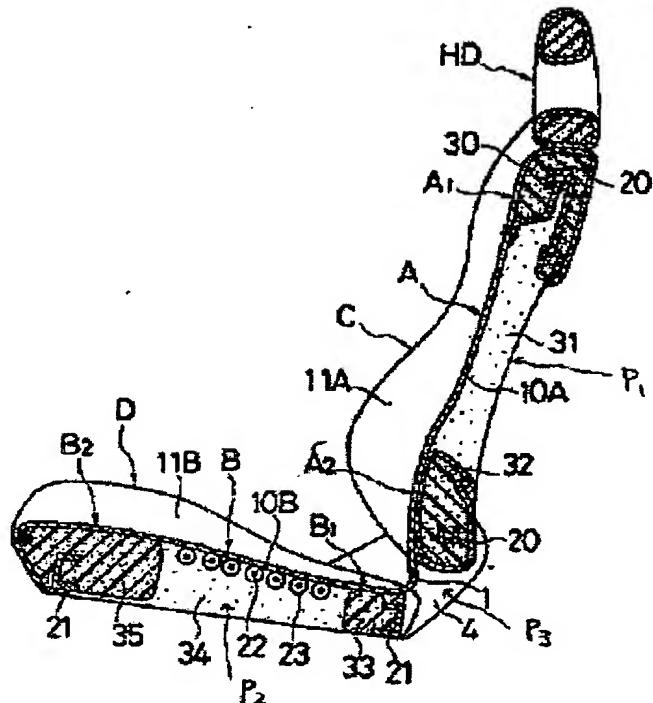
STRUCTURE OF SEAT FOR AUTOMOBILE

AB

Patent number: JP2003127737
Publication date: 2003-05-08
Inventor: ITO YASUYUKI
Applicant: TACHI S CO LTD
Classification:
- international: B60N2/44; A47C7/00; A47C7/28
- european:
Application number: JP20010323137 20011022
Priority number(s):

Abstract of JP2003127737

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve external appearance quality by having a sense of unity on a seat back and a seat cushion in a reclining seat for a bucket type automobile.
SOLUTION: A body part (10) in a trim cover (1) of the seat back (SB) and the seat cushion (SC) is formed of one net material having rigidity, and casing trim parts (11A) and (11B) of the trim cover (1) of a bucket part is formed of a flexible material.



《公開特許》

特開2003-127737

304

審査請求 未請求 請求項の数 4

「補正書あり」

(3/全5頁)
(43)公開日 平成15年(2003)5月8日

(51) Int.Cl.⁷ 識別記号
B 60 N 2/44
A 47 C 7/00
7/28

F I
B60N 2/44
A47C 7/00
7/28

(21)特願2001-323137

Z

(22)出願平13年(2001)10月22日

(71)出願人 株式会社タチエス
(72)発明者 伊藤 康行

東京都昭島市松原町3丁目3番7号

東京都昭島市松原町3丁目2番12号 株式会社タチエス内

A

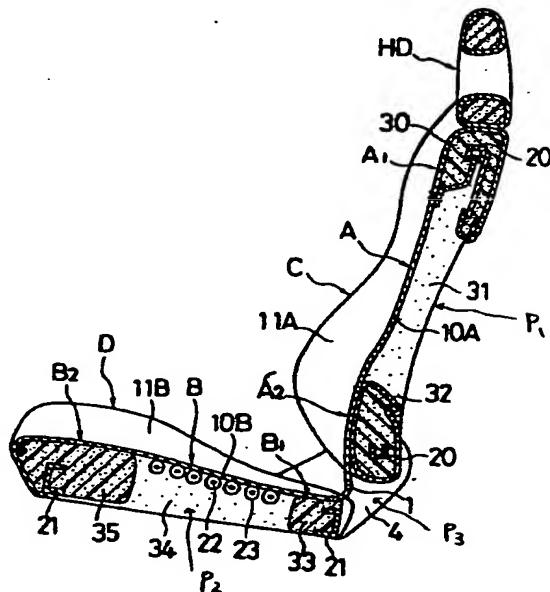
【発明の名称】自動車用シートの構造

【続きあり】

【要約】

【目的】リクライニングするバケットタイプの自動車用シートにおいて、そのシートバックとシートクッションとに一体感を持たせて外観品質を向上することである。

【構成】シートバック(SB)と、シートクッション(SC)のトリムカバー(1)における身頃部(10)を一枚の剛性を有するネット材で形成し、バケット部分のトリムカバー(1)の額縁部(11A)(11B)を柔軟材で形成したことを特徴とする。



【発明の属する技術分野】

本発明はリクライニング装置によりシートバックがシートクッションに傾動自在に連結するバケットタイプの自動車用シートに関する。

【発明が解決しようとする課題】

また、バケットタイプの自動車用シートにおいては、前述の如く、シートクッションとシートバックのトリムカバーを連続状に形成すると、シートクッションとシートバックの左右に形成する隆起部の表面を構成するトリムカバーの額縁部によって、身頃部が浮き上がるため、シートクッションとシートバックの間の身頃部をシートクッション又はシートバックのフレーム側に固定する必要がある。

なお、バケットタイプでない一般的な自動車用シートには、例えば、特開2001-70079に開示【以下省略】

【特許請求の範囲】

【請求項1】シートクッションにシートバックを傾動自在に連結しシートクッションとシートバックを各々バケット状に形成してなる自動車用シートにおいて、

前記シートクッションとシートバックにおけるトリムカバーの身頃部は一枚の剛性を有するネット材で形成し、前記シートクッションとシートバックにおけるトリムカバーの額縁部は夫々独立状且つ前記ネット材に対して柔軟な柔軟材で形成してなることを特徴とする自動車用シートの構造。

【請求項2】前記シートバックの身頃部における後方には空間部を設けてなる請求項1記載の自動車用シートの構造

【請求項3】前記シートクッションの身頃部をバネ材で支持させてなる請求項1記載の自動車用シートの構造。

【請求項 4】 前記ネット材は、多層のパイル層で結合した立体的なトラス構造からなる立体メッシュユニットに剛性を付与したものである請求項1記載の自動車用シートの構造。

【書誌事項の続き】

【テーマコード（参考）】

3B087

【Fターム（参考）】

3B087 BD01 DE03 DE05

【手続補正書】

【提出日】 平成13年11月15日（2001. 11. 15）

【手続補正1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 図面の簡単な説明

【補正方法】 変更

【補正内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る構造の自動車用シートの斜視図である。

【図2】 図1のII-II線断面図である。

【図3】 図1のIII-III線断面図である。

【図4】 図1のIV-IV線断面図である。

【図5】 本発明に使用するトリムカバーの斜視図である。

【符号の説明】

S B シートバック

S C シートクッション

I トリムカバー

10 トリムカバーの身頃部

11A トリムカバーの額縁部

11B トリムカバーの額縁部

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る構造の自動車用シートの斜視図である。

【図2】 図1のII-II線断面図である。

【図3】 図1のIII-III線断面図である。

【図4】 本発明に使用するトリムカバーの斜視図である。

【符号の説明】

S B シートバック

S C シートクッション

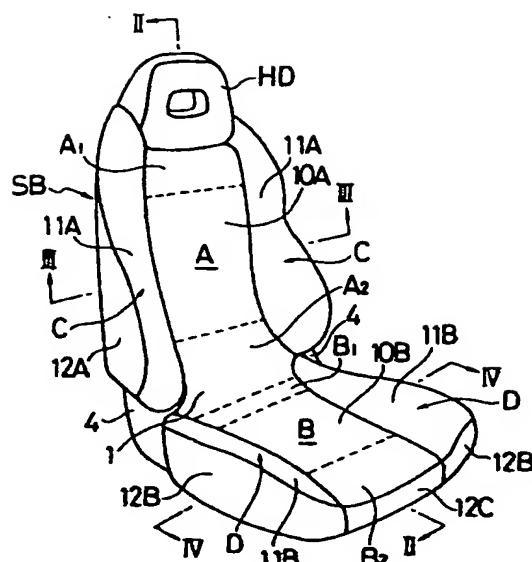
I トリムカバー

10 トリムカバーの身頃部

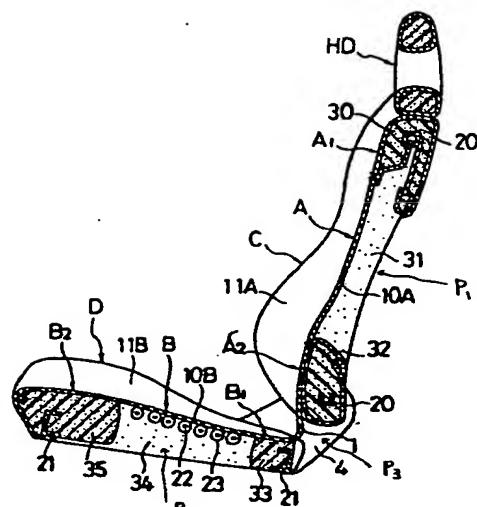
11A トリムカバーの額縁部

11B トリムカバーの額縁部

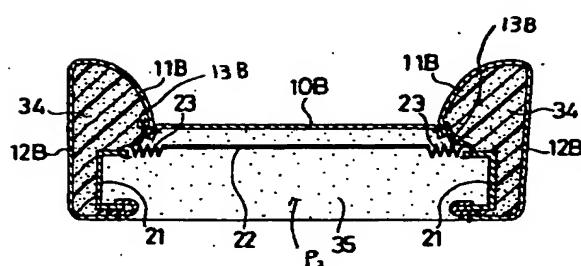
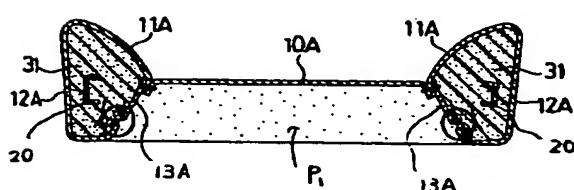
【図1】



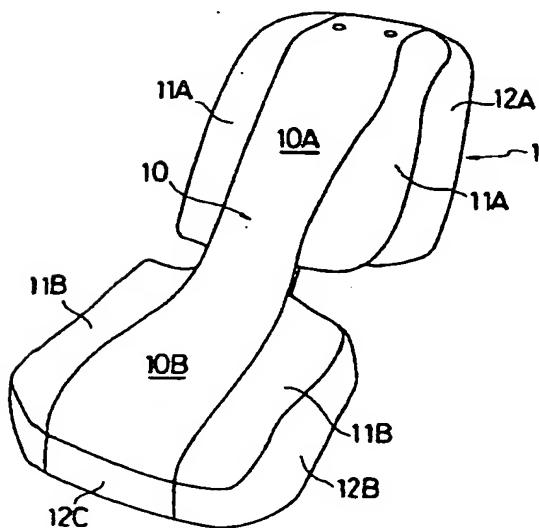
【図2】



【図3】



【図5】



BEST AVAILABLE IMAGE